

「日中未来創発ワークショップ」は、日本と中国の近未来に視点を置き、さまざまな分野における協力の可能性について、現地体験や専門家の講義を通じて学び、対話を通じて参加者同士がお互いの立場や背景にも目を向けて理解を深めることを目的としたワークショッププログラムです。

2023年6月は、静岡県沼津市の牛臥海岸近くに佇む由緒ある旧御用邸の一室をお借りして、日中の学生33名が海のプラスチックごみ問題の解決に向けてディスカッションしました。

1 現地体験から学ぶ

海岸清掃

- 海岸清掃を通じて、海ごみの現状を知る。
- 「海ごみ」は、藁ごみ、外洋からの漂着ごみ、河川上流からの人間由来のごみがある。



想像以上のごみの種類と量にショックを受けた



海ごみ問題に関しては「治療」より「予防」の方が有効であると感じた



2 ゲームを通じて学ぶ

「CHANGE FOR THE BLUE」カードゲーム

- 海洋ごみ問題について考えるゲーム型アクティブラーニング学習教材
- プレイヤーは、ゲームの世界の街の住人となって、実社会にある12の職業からひとつを選び、街の「海ごみ」を減らすためのアクションを起こす。
- 「海ごみ」を減らすためには街の様々な隣人と対話が必要になることを知る。



社会のさまざまな側面が相互に関係しあっていることに気づいた



市民意識を高めることが海ごみ削減の基礎と感じた



3 識者から学ぶ

専門家レクチャーとグループディスカッション

- 海ごみの約7割は自然分解できないプラスチックごみ
- 海ごみの8割は陸で発生するもので、川より陸の早い段階でのごみ回収が低コスト
- 自治体連携による海洋ごみ対策の具体例
- 根本的な解決策を考えよう



塩入同主任研究員 (海洋政策研究所)



第1グループ

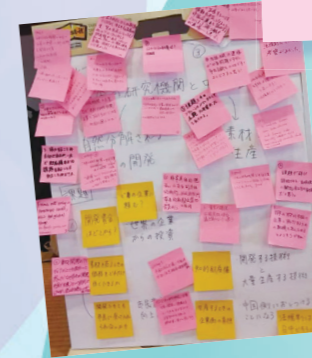
企業協賛学術ツアー

第2グループ

日中の大学と観光協会と協働

第3グループ

日中の研究機関による自然分解素材の開発と生産



4 アイディア発表!

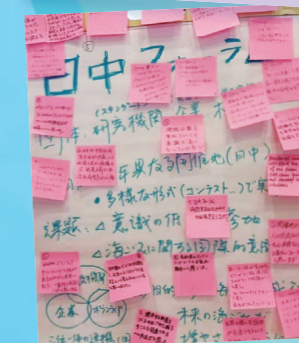
日中の民間が協力して行える海ごみ削減に向けたアクション

第4グループ

日中デザイナーによる商品開発

第5グループ

日中の研究機関、企業、学生ボランティアと対象のフォーラム開催



第6グループ

ゴミ分別制度、既存・今後のゴミ対策、日中韓協力研究、材料開発

もっと詳しく知りたい方はこちら

